



3月27日、道の駅「こもち」で、大同特殊鋼(株)洪川工場無線赤十字奉仕団の皆さんと、ウクライナ支援募金活動を行いました。

ロシアの侵攻によって、街が破壊され、多くの人が死傷し、何百万もの人々が国境を越えて避難する様子



▶多くの人に協力していただきました

など、ウクライナの窮状が連日、世界中に報道されています。

これを受け国連総会では、市民の保護など現地の人道状況の改善を求める決議案を、140カ国もの賛成で採択しました。

私たちも遠い国のこととして、看過することはできません。

道の駅での募金活動では、多くの人々が趣旨に賛同し、協力をしてくれました。市でも、市役所本庁舎の市民ホールに、ウクライナへの平和を願う掲示板を設置したところ、多くの市民の皆さんがメッセージを書き込んでくれています。また、東京電力パワーグリッド(株)洪川支社は、ウクライナ国旗の黄色とブルーの2色のライトアップを行ってくれました。

洪川市は、さまざまな違いを乗り越え、互いを尊重し認め合う「共生社会」を目指しています。国と国との間でも、武力を用いず、友好的に共存できる平和な社会が、1日も早く訪れてくれることを、強く、強く、心から願っています。